



Dr. ジョージの実存心理

第16回

奇譚塾

2018年 6月23日(土)
11:00 ~ 15:30

“奇譚”とは、「世にも珍しく面白い話。不思議な物語」のことです。

検察への道半ばで「人は、なぜ再犯をするのか？」の疑問を抱いて、私は挫折しました。解決を求め、犯罪心理・精神分析そして実存分析を学ぶため渡米を決心しました。

そんな折り、語学力の貧弱さによる孤立と、大学の死体安置所で亡くなったばかりの子どもから問いかけられる、不思議な体験がありました。「それならお兄ちゃんは、なんのために生まれてきたの？」それは強烈な一撃でした。次々に新たな疑問や課題に襲われて、初めての「うつ」を味わいました。

救ってくれたのは一冊の本と一人の自殺未遂者、そして不思議体験の子どもからの問いかけへの一つの決断でした。

「人は、幸せになるために生まれてきた！」

経営学、社会学と宗教心理学、超心理学、中医気功、易経と、幸せへの周辺科学にまで触れました。そして多くの先生方（三ヶ月章氏・高橋啓悦氏・ケネスクーパー氏・ヴィクトールフランクル氏・焦国瑞氏…）に教授を受けました。にも拘わらず、未だに目先の障害を乗り越えたつもりにはなれていません。瞬間の疑問を曖昧にして分かった気分でも一知半解の状態、これが精一杯です。確かなものにする努力をし続けるしかないのです！

真に「奇譚」は実学です！

奇譚の知恵は、科学には成り得ない一理が千変万化の君、一人の個性に適合する技術なのです。

私は、私の奇譚が、共に幸せに生きる力づくりのための、その力の支えや閃きにプラスになることができるならばと、奇譚塾を開催いたします。



奇譚塾は、偶数月の第4土曜日に開講いたします
今回は、2018年8月25日(土)
八重洲倶楽部で行う予定です。

【会場】八重洲倶楽部（東京駅地下街）

【塾長】Dr. 鈴木文織（すずきじょうじ）

【参加費】32,400円（税込・昼食付き）

※ 年間一括申込みをされますと特典があります。

年間6回受講 162,000円（税込）

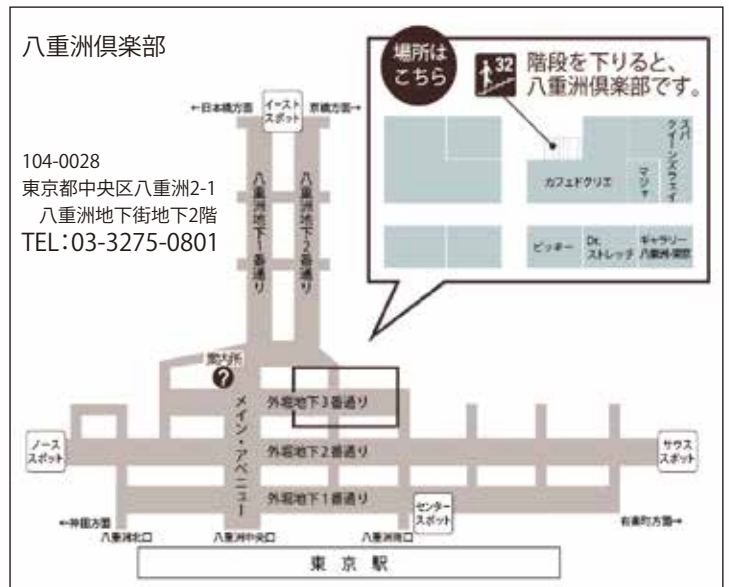
《毎年1月をはじめとする1月～12月の連続6回の講座》

【お問合せ】株式会社ビジネスラポール 奇譚塾事務局

〒192-0046 東京都八王子市明神町 4-11-11-802

TEL/FAX 042-698-3443 携帯 080-3535-5592

E-mail : info@koukakuji.com



- ・1951 年生
- ・東京大学法学部卒業後、経営コンサルタント&心理学カウンセラーとして活動する
- ・現在は、実学として科学、未科学の境なく「実践的人間力」の育成と活用を専門とする



【奇譚塾でお話しする内容の一部】

実存心理学をすべてに活用する実践方法の実学

- ①フランクルの実存分析の真髄とフランクルの人間性
- ②人間性心理学の驚異 (ESP 未知分析、心理学奇譚、経営ベネフィット心理学、グループダイナミクス行動科学、深層心理エンジェルサイエンス、楽観心理学…)
- ③宗教 (信仰) 心理による鍛錬 (神道仏教キリスト教、道教、陰陽道、修験道、梵字、造形…)
- ④組織力養成の周辺科学
- ⑤人間力養成の周辺科学

※その他、その時々に応じて様々な話をいたします。

beyond common-sence

(常識の向こう・分別を超えて)



FAX : 042-698-3443

【奇譚塾】6月23日(土) 申込書《締切 6/19》

その他、(株)ビジネスラポールホームページのお問合せメールからも承ります。

ふりがな 名 前		住 所	〒
当日の緊急連絡先 (携帯電話など)		E-Mail	
生年月日	始めてご参加の方で、2017年運氣易断の卦を希望の方はご記入ください _____年____月____日生		
※お手数ですが、ご記入お願いいたします。 <input type="checkbox"/> 受講料は年間一括 [連続6回] 払い (15万円+消費税) <input type="checkbox"/> 受講料は各回毎払い (3万円+消費税)		【振込先】 横浜銀行 大船支店 (普) 1559930 株式会社ビジネスラポール ※ 奇譚塾当日の現金でのお支払いも承ります。	(備考) 2名様以上でお申し込みの方は、こちらにお名前・生年月日をご記入ください。
		【キャンセルについて】 開催日より4日前まで無料 3～2日前まで参加費の30% 前日・当日は 参加費の100%	

参加者の声

本日の奇譚塾も大変盛り上がりましたね。誠にありがとうございました。次回も楽しみにしています。

鈴木先生が提唱しておられる「実存改革」は、現在の日本にとり最も重要かつ必要なポイントです。昨今「働き方改革」が叫ばれていますが、その根本に「実存改革」がなければ、21世紀の日本社会・日本人の活性化はありません。「人生100年時代」が到来する一方、終身雇用・年功序列システムが崩壊し、技術体系・社会構造・価値観が大きく変わりつつある中で、従来のやり方ではモチベーションを引き出すことはできません。

鈴木先生のお話は、豊富な体験・実例をふまえて、世のため人のために役立つ方向性、他者を幸福にする方向性(社会貢献のベクトル)と、自分の可能性に問いかけ、自分の好きなこと、得意なこと、やりたいことをめざす方向性(自己実現のベクトル)をかみ合わせて、自分の存在理由、価値観、居場所、ライフスタイルを明確にし、行動・実践に邁進することを教えてくださっています。このような「実存改革」の考え方と取り組みが定着すれば、一人一人の人生と日本の未来への展望は大きく開けることを確信します。(元財務副大臣)

悲観と楽観の関係性、なるほどと思い、私には発想外のことでした。そうですね、とことん沈んだら、その先は笑うか死ですね。そして、自分を取り戻すと、自分の理想ややりたいこととどんでん返ってくる、そんな思い私も経験ありました。

気持ちを高めるために、いろいろあれこれと考えますが、やる気スイッチをいれるのは、やはり心で思うことだけでなく、口にする、言葉にする、形にすることの必要、改めて感じました。どんな言葉を発し、どんな言葉をかけてあげるか、またポジティブな言葉が何か、話すこと、コミュニケーションの取り方等、私に必要と思われるもの、求められもののヒントをいただいた気がしました。

「奇譚」の言葉通りどのような内容が語られるのか、次回が楽しみです。どこでも聞けない「こだけよ」って話お聞かせ下さい。(女性)

鈴木先生の経験・体験からの豊富な話題は、自身のクライアント様への還元だけでなく、自分の仕事の姿勢や人生観にまで刺激があるように思います。「今、これからをよりよくする」実存心理学の考え方は、理解しやすく、自分の仕事の判断基準に置くことによって、自分だけでなく、サービスを提供するクライアントにもいい影響を与えることができている。また出来事を「陽転化」の考え方・姿勢で見つめることにより次のアクションが見えてくることは、自分にも、クライアントにも、躍動感を感じることができるようになりました。

そういった考え方以外でもものすごい情報量があり、またいろんな角度から、気づき・発見を引き起こすエピソード満載の時間であると体感しています。(男性)

ドクタージョージは自分で大笑いしながら真理を話す。聞いている私たちも大笑いして聞き理解する。これが本物の教え方であり真理の実践だと今回も思った。すごいな。(男性)